

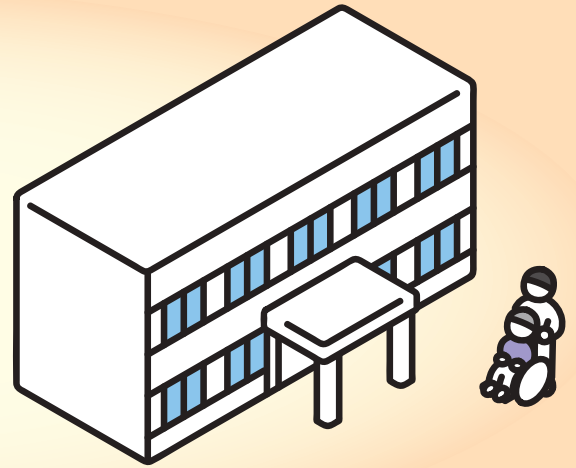
# 介護のおしごと。こんな魅力があります！

## 介護職の仕事内容

介護職の仕事は、介護を必要としている方の生活全般をサポートすることです。「お世話する」イメージがありますが、「自立を支援する」「生きる力を支え、取り戻す」のが介護職の役目です。

内容は「身体介護」「生活援助」に分けられます。

身体介護は、直接利用者さんの身体に触れて行う介護業務です。入浴介助・更衣介助・排泄介助・移乗介助・移動介助・食事介助などがあります。生活援助には調理・ベッドメイク・掃除や洗濯・買い物といった家事のサポートがあります。



## 雇用が安定していて求人が多い

日本では、高齢者増加による介護ニーズが高まる一方、介護職に就く方が不足しています。そのため、介護職の需要はなくならないと考えられています。失業のリスクが低く安定した仕事と言えるでしょう。

## 無資格・未経験からキャリアアップしやすい

介護職は年齢・性別問わず働くことができ、採用面接では学歴や介護経験が問われないこともあり、意欲があればキャリアアップしやすい職種です。働きながら資格を取得して介護技術を高めたり、自立支援の視点を学んだりできます。

## 年齢に関係なく長く働ける

介護職は年齢を重ねた人も働きやすい仕事です。介護業務は身体的につらいと思われがちですが、性別や年齢に関係なく仕事ができます。定年がある職場も多いですが、再雇用で70代まで働く方もいるようです。

## 介護職がやりがいを感じる瞬間がある

利用者さんやご家族から直接感謝の言葉をもらったとき、利用者さんの良い変化を見られたとき、スムーズな多職種連携で質の高いケアを提供できたときなどにやりがいを感じるという声をよく聞きます。

## 働く時間や雇用形態を選べる

介護職は、早朝や夜間の勤務があります。早番・遅番・夜勤といったシフト制が多く、ライフスタイルに合わせて働き方を選ぶことが可能です。雇用形態は、正社員だけでなく、パートや派遣など非正規雇用の職員が多いのも介護職の特徴。午前中だけ、6時間勤務、土日休みなど、柔軟に働けます。

## 利用者さんからの学びにより成長できる

関わる利用者さんから学びを得られるのも介護職の魅力です。利用者さんは人生の大先輩なので、多くの経験を積み、さまざまな状況を乗り越えてきた強さを持っています。こうした人たちと関わる中で、自分にはない価値観や物事の捉え方を学ぶことも多いでしょう。



# 介護の職場はこんなところ



## 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

認知症の高齢者が共同生活する住居（戸建て・アパート等）において、食事・入浴・排せつ等の介護、日常生活上の世話および機能訓練等を行います。



## 短期入所生活介護（ショートステイ）

在宅で介護を受けることが一時的に困難になった高齢者に特別養護老人ホーム、養護老人ホーム等の施設に短期間入所してもらい、食事・入浴・排せつ等の介護、日常生活に必要なサービスを提供します。



## 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

自宅で生活することが困難な方が入所する施設です。入居対象者は原則65歳以上の高齢者で、介護認定を「要介護3」以上で受けている方です。食事・入浴・排せつ等の介護や機能訓練、相談援助、日常生活上の世話等を行います。



## 通所介護（デイサービス）

在宅で介護を受ける高齢者にデイサービスセンター等に日帰り通ってもらい、食事や入浴等のサービスを提供するほか、機能訓練などを行います。



## 訪問介護（ホームヘルプサービス）

訪問介護員（ヘルパー）が在宅で介護を受ける高齢者の自宅を訪問し、食事・入浴・排せつ等の身体介護や、調理・洗濯・掃除等の生活援助を行います。



## 小規模多機能型居宅介護

居宅にて介護を必要とする方に、居宅またはサービスの拠点に通ってもらうか、短期間宿泊してもらい、入浴、排せつ、食事等の介護、日常生活の世話および機能訓練を行います。

